

## 平成28年度第7回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成28年10月21日（金） 午前10時30分  
場 所 教育委員会 第一会議室

### <教育長あいさつ>

---

新たな教育委員として井上委員を迎え、共に歩む教育委員会として新たなスタートをしたいと思えます。また、先程行われた総合教育会議では沢山のご意見をいただき、市長に十分伝わったと考えています。教育行政の法改正がなされていることもあり、様々な意見を述べ合える、意義ある教育委員会として出発していきたい考えです。

中学校に通う生徒の死亡事案について、大切なことはこれまでの私たちの歩みへのご遺族の思い、関わった子ども達、それを取りまく報道関係者も含めた社会情勢が丁寧な対応を心掛けてきたことへの感謝と、この事案を風化させないという強い思いを抱いています。今回はこれで良い解決という正解があるものではありません。正解のない問いに最善の解に皆でたどり着いたという思いです。二度と繰り返してはならないという思いで、厳しく緊張感を持って対応していく決意しております。今後ともご指導いただきながら再発防止の歩みをしっかり取り組んでいきたい。

今後の本市の教育の柱について、目に見える姿として①学力の向上、②ICTの活用、③英語教育の充実については、総合教育会議の中で十分検討されたことと思えます。

これらを支える基盤についてお話しします。④特別支援教育の継続です。例えば、発達障害の検査の担当専門員を教育委員会に2名配置しているのは本市だけです。予算や時間もかかるものですが継続していきたい。⑤道徳教育の充実です。子ども達が相手の思いに立つ、思いやり、親切、ボランティア、地域を考える、相手の立場を考えることで、いじめ防止にもつながるため、道徳教育の中でいのちの大切さや郷土愛を育む教育として充実を図りたい。⑥生徒指導の充実です。いじめ、不登校の防止ですが、子どもの心を育むことが大切です。子ども達は日々生活して、日々問題に直面しています。今日何も起こらなくても、明日も起こらないとは限らない。毎日の対応を丁寧にしていくことを充実させていきたい。これらを基盤にして、安定した学校生活の中で新たな市民としての育ちをつくっていきたい。

昨日の学校公開研究会に参加してみて、学びから脱落している子どもは一人もいませんでした。家庭での勉強を全くしない。あるいは学校に行っても面白くないという子どもの割合が、全国平均よりきわめて少ないのは、本市の財産であり、さらに良さを伸ばし、課題を克服しながら進んでいきたい考えですので、これからもご協力をお願いいたします。

< 議 事 >

---

議第18号 平成28年度教育委員会感謝状贈呈について

< 可決する >

審議過

委員： 学校長からの推薦内容を見ますと、皆さん学校に対して大変貢献していただいている様子であり、贈呈決定で良いと思います。

教育長： 議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 報 告 >

---

- ・天童市立中学校に通う生徒の死亡事案に関する調査報告書の再開示について（学校教育課）

教育長： 他には無いようですので、第7回教育委員会会議を終了します。